

第3学年 「1けたをかけるかけ算(10時間)」評価資料

単元目標	
知識及び技能	(2, 3位数) × (1位数) の筆算の仕方を理解し, 筆算で計算できる。
思考力, 判断力, 表現力等	(2, 3位数) × (1位数) の計算の仕方を, 具体物や図, 式を用いて表現することができる。
学びに向かう力 人間性等	乗法の筆算のよさがわかり, 進んで用いようとする態度を養う。
中心となる数学的な見方・考え方	
<p>☆ 10のまとまりや100のまとまりに着目して, (2位数) × (1位数), (3位数) × (1位数) の計算の仕方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (2位数) × (1位数) では, 何十の計算を使って考える。※</li> <li>・ 筆算は, 位を縦にそろえて書く必要があることを理解する。</li> <li>・ (3位数) × (1位数) では, 何百の計算を使って考える。(※の活用を図る。)</li> </ul>	
重点とする評価の観点及び指導の具体	
重点とする評価の観点(1/10)	10や100のまとまりに着目して, 答えの求め方を考えている。
<p>【子供の表現例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ チョコレート1個で十円玉が2枚。4個買うから <math>2 \times 4 = 8</math>。十円玉は8枚になるから, 80円。</li> <li>○ 1ふくろあたり百円玉が2個だから, <math>2 \times 4 = 8</math>。百円玉が8枚だから, 800円。</li> </ul>	<p>【指導の手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 十のまとまりが何個になるかに着目させると, 九九が使えることに気付かせる。</li> <li>○ 「<math>20 \times 4</math>」と同じように考えることを押さえる。</li> </ul>
重点とする評価の観点(2/10)	既習事項を活用して, $23 \times 3$ の計算のしかたを具体物や図, 式を用いて表現して考えている。
<p>【子供の表現例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 23を20と3に分けて計算すれば, 九九が使えるよ。</li> <li>○ 分けて考えると, <math>20 \times 3 = 60</math>。 <math>3 \times 3 = 9</math>。 <math>60 + 9 = 69</math>。</li> </ul>	<p>【指導の手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前に学習した何十の計算を使っていることを押さえる。</li> <li>○ 図, 式, 言葉などで計算のしかたについて, 自分の考えを表現させる。</li> </ul>
重点とする評価の観点(5/10)	(2位数) × (1位数) の計算の仕方を活用して, (3位数) × (1位数) の計算の仕方を図や式等を用いて考えている。
<p>【子供の表現例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 213円は, 位ごとに分けて計算します。</li> <li>○ 213円は, 百が2個と十が1個と一が3個です。</li> <li>○ <math>200 \times 3 = 600</math>。 <math>10 \times 3 = 30</math>。 <math>3 \times 3 = 9</math>。 <math>600 + 30 + 9 = 639</math>。</li> </ul>	<p>【指導の手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ かけられる数を分けて考えることを押さえる。</li> <li>○ 213の構成をもとに, 位ごとに分けてかけて方法をブロックや図, 式と結び付けながら計算の仕方を考えさせる。</li> </ul>
反省	